

2019年度事業計画書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

1、 公1事業 (障害者、交通遺児等に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの支援事業)

① 第18回「希望号」実施

障害者の社会的自立と見聞を広めてもらうことを目的とした国内研修旅行。障害者、同伴者、ボランティアなど総勢120名の参加を予定。

(主催) 茨城新聞社・茨城新聞文化福祉事業団

② 「わたしもアントラーズ応援団」

県内在住の交通遺児とその家族を励まし、遺児の健全な育成を支援。

③ 「ホーリーの元気サポーター」

水戸近辺の児童養護施設の子供たちを水戸ホーリーホック試合に招待。親と離別して生活する子供たちを励まし、健全育成推進が目的。

④ 予備費

2、 公2事業 (茨城県内の社会福祉、学術、文化、芸術など各種団体の活動支援のための助成事業)

(1) 文化事業助成

① 茨城県新聞教育研究会のNIE活動へ助成

NIE(教育の場に新聞を)活動は、活字文化を守り子どもたちの考える力や判断力と豊かな創造力を育むことを目的に、新聞界と教育界が協力して取り組んでいる全国的事業。県新聞教育研究会は学校の先生方が中心になって組織し、県内NIE活動を積極的に推進している

② 「狂言鑑賞会」

県内の小中学生と身体障害者の方を招待し、伝統芸能狂言を鑑賞してもらう。

③ 「全国こども陶芸展 IN かさま」

子供たちの豊かな創造性の育成と県産品「笠間焼」を全国にアピールすることが目的。

④ 「日本の書展茨城展」

⑤ 団体等が主催する事業への助成

- ・茨城県芸術祭
- ・全国選抜高校剣道大会
- ・茨城県民駅伝競走大会（県体育協会）

⑥ 茨城県国際交流協会へ助成

外国人向けに発刊しているガイドブックの制作代を助成

⑦ 「現代茨城作家美術展」

県内在住作家の中から選考された作家の代表作を県近代美術館に展示し、県内芸術文化の向上に寄与するとともに次代を担う新人の台頭を促す

⑧ いばらき文化振興財団「地域音楽活性化事業」

世界一流の演奏家を招いて県民に一流の芸術に接する機会を提供するとともに、県内アマ吹奏楽団に演奏機会を提供する。

⑨ （新規）「日立Nicos Orchestra Lab」

2016年の県北芸術祭を機に発足したボランティア団体。使い古された家電を楽器に蘇生させ、奏法を編み出してオーケストラを形作っていくプロジェクトを展開。演奏会やワークショップなどを通して多くの人を巻き込み、文化交流活動を進めている。

⑩ 予備費

（※申請なしや新規に対応）

（2）福祉事業助成

① 県内福祉団体・施設への助成

「歳末助け合い募金」の中から県内福祉団体・施設へ助成

② 県内民間福祉団体等が行う各種事業への助成

- ・茨城障害者「ゆきんこ祭り」への助成
- ・「茨城いのちの電話」への助成
- ・「いばらき被害者支援センター」への助成
- ・日本オストミー協会県支部への助成

③ ハンセン病療養所への茨城新聞送付

県藤楓協会と県保健福祉部の依頼により療養所 3 施設に入寮治療をうけて

いる県出身者に地元のことを知っていただくため茨城新聞を送付

④ 予備費

(※申請なしや新規に対応)